

奈良市議会議長

森田 一成

Morita Kazunari



奈良市議会第85代議長に就任

より活発な議論の場創出へ

奈良市議会の森田一成(自民党奈良市議会・結の会所属)は、市議会6月定例会で選挙の結果、第85代議長に就任しました。中核市の議会として市民に愛される議会、尊敬される議会づくりに邁進していく所存です。県と市が手を携え、市内各地のまちづくりを進める中、市議会の役割はますます重要になっていきます。県と市の架け橋として、より活発な議論の場を創出してまいります。わたしの今年度上期の議会活動を「報告いたします」。

市役所 移転か改修か、知事と市長の意見対立 市議会が県と市の架け橋に

昭和52年に建設された市役所本庁舎の3棟は老朽化が進み、耐震性に問題が生じています。仲川元庸市長は改修工事にかかる総事業費32億6000万円の一部を市議会6月定例会に上程しました。

これに対し、県の荒井正吾知事は、積水化学工業奈良事業所跡地を県が先行取得して市に無償貸与する移転建て替えが望ましいのではないかと提議し、改修か移転か、両者の案が対立しました。

市議会では、荒井知事にお越しいただき、県がまとめた試算案などを聞く勉強会を開催し、両案の長所や短所、さらに今後のまちづくり、財政シミュレーションを総合的に検討してきました。仲川市長も市議会に対して説明を行い、「耐震改修案の方が50億円有利になる」と反論。7月には

仲川市長は方向性を結論付け、耐震改修を決め、関係予算案を市議会7月臨時会に上程しました。

市議会ではこれを審議し、議会棟2階の議員控室の壁などの改修費や多目的トイレ設置費など、計3800万円を削除して可決しました。

移転案の場所となった積水化学工業奈良事業所跡地は昨年8月、同社と県、市の3者間で跡地利用の包括協定を締結し、歴史や文化のにぎ

わい創出や周辺地域との調和を図るための都市計画、まちづくりを協力して行っていくことが決められています。

財政的な理由により、この場所を市役所の移転案として活用しないことは市政のトップが判断しましたが、この場所のまちづくりについては、県と市が手を携え、前に進めていく必要があります。

市議会では、これらの青写真を早期に描くべく、市役所の移転か耐震改修かの根拠を残すことなく、県と市の架け橋となって関係の修復と、まちづくりを進めてまいります。



移転か耐震改修かで知事と市長の意見が対立した老朽化が進み、耐震性に問題が生じる市役所

奈良大学で講義

「奈良市議会の仕組みと今後の展望」テーマに

政治にもっと若者の意思を

奈良市議会議長の森田一成は10月28日、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に奈良市と包括協定を結ぶ奈良大学(奈良市山陵町)に講

師として招かれ「奈良市議会の仕組みと今後の展望」をテーマに講義をさせていただきました。講義は奈良大学社会学部総合社会学科の「基礎演

習II」として、約60人の生徒を前に90分間実施。講義の冒頭に「平和で安定した時代を続けた日本人の素晴らしさを、もっと学校で教えてほしい」とわたしの教育への思いを語り、政治家となった経緯や政治に若者の声が少ない現状などについて話しました。

また、講義を受ける生徒から「選挙には行かなかった」という声が聞かれる中、奈良市の総合計画に若者の政策が少ない現実を伝え、若者が政治にもっと意思をぶつける大事さについて語らせていただきました。



- 所属団体 役職
- 奈良市議会 第85代議長
 - (財)奈良県青少年会館評議員
 - 奈良県青年団協議会顧問
 - 奈良市青年団協議会監事
 - 都跡地区子供会顧問
 - 三条・四条大路2・3丁目子供会幹事
 - 北大和高等学校同窓会会長
 - 奈良西ライオンズクラブ会員
 - 奈良市ウエイトリフティング協会副会長
 - 少林寺拳法奈良中央道院顧問
 - 国際空手道連盟極真会館 奈良支部相談役
 - 奈良商工会議所青年部朋友会会員
 - 奈良市ラグビーフットボール協会副会長

<http://moritakazunari.com>

